

科目名		サブタイトル		担当教員	配置学年	単位数
ビジネス倫理		～企業に求められるサステナビリティ経営の基盤づくり～		村瀬 次彦	2年次前期	2
科目区分	専門	キーワード	コンプライアンス インテグリティ 共有価値創造 サステナビリティ			
ディプロマポリシーとの対応		1. 時代や社会の要請に対応できる能力				
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的な知識と実践力とを総合的に身につける				
事前に受講するとよい科目		「マーケティング論」				
講義の目的	企業には本業による社会課題解決とともに経済的価値が求められています。そのために変化する外部環境をしなやかに取り込むサステナビリティ経営に向かっています。本講義では、ビジネス倫理の基本的な理論や定義を学ぶとともに、企業が直面している倫理的課題を通じて、将来、自らの職務における倫理的な振る舞いについて思考する際の基礎を構築することを目的とします。					
到達目標	本講義では、①ビジネス倫理の基礎的な理論・定義を知る。②社会と企業との価値創造のための仕組みを理解できるようになる。③その内容を自分の言葉で説明できるようになる。④最新の企業活動の動向を知り、倫理的な課題について自ら考察出来るようになることを目標とします。					
講義内容	ビジネス倫理の重要性は、企業を取り巻く様々なステークホルダーが認めるどころです。「なぜ、企業は倫理的であるべきなのか」「倫理的である企業とは具体的にはどのような企業か」「ビジネス倫理は企業価値の向上にどのように結びつくのか」等のビジネス倫理に関する論点や問題に事例を通じて考察していきます。なお、講義内容については、時間の関係で変更することもあります。さらに、複数の実務家などを外部講師として招聘し、企業の実際の現場で起きている課題について深い見識を得られるようにします。					
講義スケジュール		タイトル	内容			
	第1講	オリエンテーション	講義の概要、成績評価の説明、ビジネス倫理の変遷			
	第2講	倫理とコンプライアンス	コンプライアンスの基礎、考え方			
	第3講	倫理と企業不祥事	外部講師予定			
	第4講	倫理とメディアリテラシー	メディア機能の理解と活用			
	第5講	倫理と財務	外部講師予定			
	第6講	倫理と内部統制	外部講師予定			
	第7講	倫理と理念・価値観の意義	外部講師予定			
	第8講	倫理と理念・価値観の浸透	共有と環境づくり、具体事例			
	第9講	倫理と人的資本経営	社員エンゲージメントと生産性との関係			
	第10講	倫理とインテグリティ	インテグリティと企業経営との関係性			
	第11講	倫理とSDGs①	外部講師予定 企業事例 (SDGs)			
	第12講	倫理とSDGs②	SDGsを経営に実装するための思考法			
	第13講	倫理とESG投資	外部講師予定			
	第14講	倫理と共有価値創造	日本企業に求められる共有価値創造の経営戦略			
第15講	ビジネス倫理のまとめ	各講義のまとめ、質問等				
指導方法	講義の前半部（第2講～第6講）は、「守り」の企業経営、後半部（第7講～第14講）では、「攻め」の企業経営を学習する構成です。「ビジネス倫理」は企業経営の基盤とする位置づけです。必要に応じて映像教材の視聴やグループディスカッション等も行う予定です。					
事前学習	事前学習として、日常的に新聞等によりビジネス倫理やCSR、サステナビリティ経営に関する情報を集めてください（1時間程度の学習時間が目安です）。					
事後学習	事後学習として、講義で得た知識をもとに興味のある企業について調べるなどして、知識をさらに深めることが大切です（1時間程度の学習時間が目安です）。					
成績評価方法	平常点（リアクティブレポート：2講～14講）65% 本試験（期末レポート）：25% 平常点（発表・発言）10% ＊毎回、講義の内容をまとめ思考するレポートの提出を求めます（筆記、オリエンテーションは、練習となります）。					
テキスト	指定テキストはありません。必要に応じて資料を配布します。但し、SDGs①②は、「田瀬和夫他『SDGs 思考』インプレス 2020」をテキストしますが、購入の必要はありません。					
参考書籍	必要に応じて紹介します。					
特記事項	教員経歴：麒麟麦酒他 法政大学大学院政策創造研究科政策創造専攻修士（政策学） 法政大学大学院公共政策研究科サステナビリティ学専攻博士課程 経営倫理実践研究センター常務理事					